

## 財務諸表に対する注記

### 1 継続事業の前提に関する注記

継続事業の前提に重要な疑義を抱かせる具象又は状況はない。

### 2 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

該当なし

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

該当なし

(3) 固定資産の減価償却の方法

該当なし

(4) 引当金の計上基準

該当なし

(5) リース取引の処理方法

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、重要性が乏しいため通常の賃貸借処理によっている。

(6) 消費税等の会計処理

税込方式によっている。

### 3 会計方針の変更

該当なし

### 4 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。 (単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産 該当なし	—	—	—	—
小 計	—	—	—	—
特定資産 積立預金	6,022,341	151	2,700,000	3,322,492
小 計	6,022,341	151	2,700,000	3,322,492
合 計	6,022,341	151	2,700,000	3,322,492

### 5 基本財産及び特定資産の財源等内訳

基本財産及び特定資産の財源等内訳は、次のとおりである。 (単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に対 応する額)
基本財産 該当なし	—	—	—	—
小 計	—	—	—	—
特定資産 積立預金	3,322,492	—	(3,322,492)	—
小 計	3,322,492	—	(3,322,492)	—
合 計	3,322,492	—	(3,322,492)	—

### 6 担保に供している資産

該当なし

- 7 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高（直接法により減価償却を行っている場合）  
該当なし
- 8 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高  
（貸倒引当金を直接控除した残額のみを記載した場合）  
該当なし
- 9 保証債務（債務保証を主たる目的事業としている場合を除く）等の偶発債務  
該当なし
- 10 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益  
該当なし
- 11 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳  
該当なし
- 12 関連当事者との取引の内容  
該当なし
- 13 重要な後発事象  
該当なし

#### 附属明細書

- 1 基本財産及び特定資産の明細  
財務諸表に対する注記に記載済につき省略
- 2 引当金の明細  
該当なし